

令和2年度 京都市立神川小学校 学校経営基本構想

【学校教育目標】

自ら学ぶ力



自ら学び 健康で 心豊かな子の育成

主体性

自ら律する力

社会性

【目指す子ども像】

- か** かがやく子 （心身共に健康で、明るく意欲的に活動する子）
- み** みんなで力を合わせる子 （同じ目標に向かって努力し、協力する子）
- か** 感謝と思いやりの心をもつ子 （人や自然、ものへの感謝と思いやりの心をもつ子）
- わ** わかった、できたを目指す子 （めあてをもって、粘り強く学習する子）

◎ 「できるからする できないからしないではなく するからできるようになる。」

◎ あなたの答えはまちがっています。これからは、「どこがまちがっているのでしょうか。」

「皆さん、どうしたら正しい答えになりますか。考えましょう。」

◎ すべては子どもたちのために すべての子どもたちのために

【目指す学校像】◎ 喜んで登校 満足して下校

- ◇わかる喜び、学ぶ楽しさを実感できる学校
- ◇自分が認められ、安心して生活できる学校
- ◇信頼できる、大好きな教職員や友だちがいる学校
- ◇家庭・地域と連携し、共汗する活動を進める学校

【目指す教職員像】

- ◇一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員
- ◇プロ意識と責任感をもって自ら行動する教職員
- ◇自己研鑽に励み、自らを高めようとする教職員
- ◇「チーム神川」の一員として協働する教職員

カリキュラム・
マネジメント

PDCA
サイクル

《確かな学力の育成》

- わかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる授業の構築
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
 - ・問題解決的な学習や体験学習の充実
 - ・めあてとまとめ・ふりかえりの徹底・授業改善
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 言語活動の充実 ○学習集団づくり
- 理数教育の充実 ○若手実践道場の推進
- 「地域」をテーマにした総合的な学習の時間の推進
- グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成
- 支援を必要とする児童への指導体制の構築
- 家庭学習の習慣化と主体的に取り組む工夫・改善

《豊かな心の育成》

- 道徳教育の充実
 - ・「特別の教科 道徳」の実施に向けた取組の推進
- 豊かな感性の醸成（伝統文化や芸術の取組）
- 攻めの生徒指導（教育活動の三機能を確認）
 - ・児童理解と見逃しのない観察
 - ・心の通った指導 ・手遅れのない対応
 - ・支え合い高め合う集団づくりの推進と絆づくり
- 人権教育の充実
 - ・「なかまの日（人権学習）」の取組の実践
- たて割り活動の充実
- キャリア・パスポートの実践

《健やかな体の育成》

- 運動・スポーツの楽しさや喜びを味わえる体育指導や部活動の工夫と実践
- 命を守り育む安全教育の充実 ○望ましい生活習慣の確立 ○食に関する指導の推進
- 防災教育の充実 ○飲酒・喫煙・薬物に関する指導の推進

《家庭・地域との共汗活動の推進》

- 学校運営協議会の推進 ○地域行事への積極的な参加
- コミュニティ・ティーチャー（地域人材）の協力と発掘
- 学校評価 ○学校だより・ホームページでの情報発信

《校種間連携の推進》

- 神川中学ブロック連携の推進
 - ・合同研修 ・学力向上 ・部活動体験
- 保幼小中児童館連携の取組の推進